



2010年10月18日

各 位

会社名 **日神不動産株式会社**

代表者の役職名 代表取締役会長兼社長 神山和郎

(コード番号：8881 東証第一部)

問い合わせ先 取締役兼執行役員専務 藤岡重三郎

電話番号 03-5360-2011

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2010年10月18日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、前回到公表した平成23年3月期等の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成23年3月期の前回発表日は以下のとおりです。

第2四半期(累計) 連結業績予想 2010年8月6日 / 個別業績予想 2010年5月14日  
通 期 連結業績予想 2010年6月21日 / 個別業績予想 2010年5月14日

## 記

## 1. 平成23年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益	1株当たり連結四半期純利益
前回発表予想 (A)	15,500	160	140	1,360	57円98銭
今回修正予想 (B)	13,420	200	180	1,480	63円10銭
増減額 (B-A)	△2,080	40	40	120	—
増減率 (%)	△13.4	25.0	28.6	8.8	—
前期連結実績 (平成22年3月期第2四半期)	16,081	253	232	117	5円02銭

## 2. 平成23年3月期第2四半期(累計) 個別業績予想数値の修正

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,000	△70	△200	△200	△8円52銭
今回修正予想 (B)	7,770	△110	△200	△230	△9円80銭
増減額 (B-A)	△2,230	△40	—	△30	—
増減率 (%)	△22.3	—	—	—	—
前期個別実績 (平成22年3月期第2四半期)	13,914	172	294	294	12円56銭

## 修正の理由

## ○連結業績予想の修正理由

日神不動産株式会社 単体の業績修正に加えて、日神住宅サポート株式会社、多田建設株式会社などの利益が想定を上回る見通しとなったことから、減収増益予想としました。

## ○単体業績予想の修正理由

9月より供給を開始した「日神パレスステージ」(ファミリータイプ)の販売は好調に推移しているものの、上期の販売の中心である「日神デュオステージ」(シングル、ディンクスタイプ)において、市場動向を見極めつつ粗利益確保を重視したことにより、マンション分譲事業が想定(430戸)を下回る見込み(304戸)となったことによります。

1. 平成23年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	42,500	2,770	2,620	2,870	122円36銭
今回修正予想 (B)	41,500	3,000	2,900	4,100	174円81銭
増減額 (B-A)	△1,000	230	280	1,230	—
増減率 (%)	△2.4	8.3	10.7	42.9	—
前期連結実績 (平成22年3月期)	31,003	890	813	480	20円47銭

2. 平成23年3月期 通期個別業績予想数値の修正

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	29,500	1,800	1,500	1,500	63円95銭
今回修正予想 (B)	25,300	1,600	1,350	1,300	55円42銭
増減額 (B-A)	△4,200	△200	△150	△200	—
増減率 (%)	△14.2	△11.1	△10.0	△13.3	—
前期個別実績 (平成22年3月期)	25,649	606	651	585	24円94銭

修正の理由

○連結業績予想の修正理由

日神不動産株式会社 単体の業績修正に加えて、上期に好調であった日神住宅サポート株式会社、多田建設株式会社の業績が引き続き好調な見通しとなったことにより、減収増益予想としております。

当期純利益に関しましては、6月21日に予想した、多田建設株式会社を連結したことによる「負ののれん発生益」を600百万円から1,423百万円に修正しております。

○単体業績予想の修正理由

売上高につきましては、前述のファミリータイプの販売が好調なことから、上期の未達分のみを修正し、更に下期に予定していた、オフィスビルの一棟売り約20億円を最近のオフィスビル需要を鑑み、来期に繰延したことによります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上